

[第6回釧路生命倫理フォーラム]のご案内(確定版)

INVITATION to the 6th Kushiro Bioethics Forum (Final Version)

時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記の要領にて第6回釧路生命倫理フォーラムを開催いたしますので御案内申し上げます。

記

- ◆会場：釧路市観光国際交流センター (<http://ja.kushiro-lakeakan.com/kkc/>)
- ◆期間：2019年8月8日(木)～11日(日)
- ◆対象者：生命倫理・医療倫理に興味のある方
「市民向け」の表示のないセッションもオブザーバーとして参加可能です。
- ◆募集人数：約30名(一つだけの受講も可)市民向け公開シンポジウムは約50名
- ◆参加申込先：くしろ長期滞在ビジネス研究会事務局(釧路市役所市民協働推進課内)
〒085-8505 釧路市黒金町7-5 担当 清水 E-mail:shi-shiminkyoudou@city.kushiro.lg.jp
TEL:0154-31-4538 FAX:0154-23-5220 (あるいは、栗屋 t-awaya@nifty.com)
- ◆受講料：無料(講師はすべてボランティア)
- ◆主催：釧路生命倫理フォーラム実行委員会
- ◆共催：くしろ長期滞在ビジネス研究会
- ◆後援：釧路市、釧路市医師会
- ◆内容についての問い合わせ先：栗屋剛 Tel: 090-3377-6800 E-mail: t-awaya@nifty.com

◆プログラム Program

8日(木)午前10時00分～11時30分：個別報告<司会：中塚晶博>

栗屋剛(岡山商科大学法学部教授)「正義と忠義の関係に関する一考察」

Young-Mo Koo, Associate Professor, Department of Medical Humanities and Social Sciences, University of Ulsan, Seoul, Korea, “Legislation and Implementation of the Act on Decisions on Life-sustain Treatment of 2017 in South Korea”

8日(木)午後1時30分～3時00分：科研研究会【手術誘因と医師の裁量について】(栗屋科研「手術誘引研究」主催)<司会兼オーガナイザー：栗屋剛>

村岡潔(医師・佛教大学社会福祉学部教授)「外科的予防医学の生命倫理的問題点：

未破裂動脈瘤の予防的手術と予防的乳房切除術をめぐって」

栗屋剛(岡山商科大学法学部教授)「手術誘引パターンの研究—札幌医科大学心臓移植事件、慈恵会医科大学青戸病院事件、熊本大学医学部附属病院事件の比較—

倉持武(元・松本歯科大学教授)：コメンテーター

Young-Mo Koo, Associate Professor, Department of Medical Humanities and Social Sciences, University of Ulsan, Seoul, Korea, Commentator

8日(木)午後3時30分～5時00分: 科研研究会【超高齢社会における正義と生命倫理】(中塚科研「認知症と人権」主催) <司会兼オーガナイザー: 中塚晶博>

中塚晶博(医師、東北大学未来科学技術共同研究センター准教授「認知症者の人権保障をめぐるジレンマと、医療者の役割について」)

山本克司(修文大学健康栄養学部教授)「認知症高齢者の不法行為が抱える法的・社会的課題と対応」

倉持武(元・松本歯科大学教授): コメンテーター

9日(金)午前9時30分～11時30分: 科研シンポジウム【リプロダクションとパートナーシップの可能性】(入澤科研「出自をめぐる倫理問題」、稲垣科研「LGBTXの家族形成」及び村岡科研「高度先端医療の ELSI」合同主催) <司会兼オーガナイザー: 村岡潔>

村岡潔(医師、佛教大学社会福祉学部教授)「ART の新たな利用法を用いた『遺伝的繋がり重視の家族形成』に関する、いくつかの問題概説: 生殖補助医療の新たな利用法(alternative usage of ART)の生命倫理」

入澤仁美(兵庫医科大学医学部非常勤講師) [SKYPE or PPT プレゼン予定]「配偶子提供型生殖補助医療(DC)の倫理的・法的問題— AID が抱えた倫理的ジレンマ—」

水野礼(精神保健福祉士、名古屋大学人文学研究科大学院生)「性機能不全における『治療』を考える—制度・主体・イデオロギー—」

佐久間悠太(東北大学大学院法学研究科大学院生)「同性カップルと子どもを巡る法的問題—同性婚と同性パートナーシップにおける比較から—」

稲垣恵一(日本赤十字豊田看護大学看護学部非常勤研究員)「日本のLGBTXと家族、子ども—ゲイビームとの比較—」

倉持武(元・松本歯科大学教授): コメンテーター

9日(金)午後1時30分～5時00分: 科研シンポジウム【予防医学の ELSI(倫理的法的社会的諸問題)～いわゆる「子宮頸がんワクチン」をめぐるって】(村岡科研「高度先端医療の ELSI」主催) <司会兼オーガナイザー: 村岡潔>

村岡潔(医師、佛教大学社会福祉学部教授)+打出喜義[SKYPE or PPT プレゼン予定](医師、金城大学医療健康学部教授)「『子宮頸がんワクチン』というコンセプトの生物医学的問題点」

佐々木香織(小樽商科大学言語センター准教授)「公衆衛生・科学言説におけるリテラシーとレトリック— HPV ワクチンを題材にして」

井上芳保(元・札幌学院大学社会情報学部教授)「HPV ワクチン接種被害者が過剰な予防医学の犠牲者でもあることの社会的考察」

倉持武(元・松本歯科大学教授): コメンテーター

10日(土) 午前9時30分～11時30分、午後1時30分～5時00分：科研シンポジウム【修復腎移植・渡航移植と応招義務】(宍戸科研「新しい診療拒否」主催)
＜司会兼オーガナイザー：宍戸圭介＞

宍戸圭介(岡山商科大学法学部長・教授)「修復腎移植・渡航移植と応招義務～シンポジウム趣旨説明」

近藤俊文(医師、市立宇和島病院名誉院長)「修復腎移植を巡って」

高木美也子(東京通信大学人間福祉学部教授)「腎移植のドナー・レシピエントに対する実態調査から見えてくること」

加藤穰(石川県立看護大学人間科学領域准教授)「医療における良心的拒否とアクセス保障—アメリカの事例を中心に—」

Enver Tohti, Former Surgeon in China, UK, “Testimony and The Uyghur Situation in China” (簡単な通訳あり)

David Matas, Human Rights Lawyer, Canada, “China Tribunal and Action Plan for Japan” (簡単な通訳あり)

栗屋剛(岡山商科大学法学部教授)「渡航移植規制の正当化根拠」

小川由英(東和病院泌尿器科部長)「渡航移植患者の受け入れについて」

宍戸圭介(岡山商科大学法学部長・教授)「応招義務—浜松医科大ケースについて—」
倉持武(元・松本歯科大学教授)：コメンテーター

10日(土) 午後6時30分～8時30分：全体懇親会(場所未定、参加費5,000円)
参加ご希望の方は7月15日(月)までに、栗屋 t-awaya@nifty.com までご連絡ください(二日前までキャンセル可能です)。市民の方も参加可能です。

11日(日) 午前9時30分～11時30分：個別報告＜司会：中塚晶博＞

和田泰三(医師、京都大学「東南アジア地域研究」研究所連携准教授)「地域包括ケアにおけるアドバンス・ケア・プランニングの試み—人工的水分・栄養補給を中心として—」

山下登(岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科教授)「重度障害新生児の治療停止」

丸山英二(神戸大学名誉教授)「次世代医療基盤法」

11日(日) 午後1時30分～5時00分：市民向け公開シンポジウム【人間の発達段階から見た老年期】＜司会兼オーガナイザー：船木祝＞

船木祝(札幌医科大学医療人育成センター准教授)「高齢者と生きがい」

竹内美妃(看護師、キャンパス釧路代表)「近年の災害にみた高齢者への影響と平時の地域力」

中塚晶博(医師、東北大学大学院医学系研究科准教授)「認知症者の生活環境・介護事情の現状と、その課題」

森満(医師、北海道千歳リハビリテーション大学学長)「高齢者が共生できる社会環境づくりの現状」

倉持武(元・松本歯科大学教授)：コメンテーター